

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和2年6月19日（金）
 出水市立江内小学校5・6年生25名
 2校時（体育館）
 県立埋蔵文化財センター
 湯場崎

1 指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点			
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事理解する。	10	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて			
	2 本時の目標 縄文時代の生活を 知ろう。						
展開	3 縄文時代について学習する。 ① 全国の遺跡数を予想する。 ② おおよそどの位前か。 ③ 三内丸山遺跡や吉野ヶ里遺跡と上野原遺跡を知り、鹿児島島の縄文土器の特徴を知る。 ④ 竪穴住居跡や石器を紹介し、石器の本物を提示して、その使用方法を知る。	20	○ 全国のコンビニ数の約8倍であることを説明する。 ○ おおよそ1万年続いたことを説明する。 ○ 竪穴住居の住む人数や石器の使い方を知る。 発掘調査の成果から、どこまで研究が進んでいるのか説明する。	○ プレゼンテーション			
	5 地域にある縄文時代の遺跡を知る。 ① 古くから発掘調査が行われていること理解する。 ② 出水にある出水貝塚の特徴を学習する。 ③ 小学校の近くにある江内貝塚を学習する。 ・出土した骨から、どのような動物を食べていたのかを学習する。						
	6 本物の土器や石器に触れる。				○ 破損がないように丁寧に扱うように指示する。	○ 土器を2点ほど用意する。	
	7 本時のまとめをする。 自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人達の働きについて考える。				10 5	○ 地域にある遺跡が有ることに興味を持たせ、縄文時代の生活の工夫を振り返る。	
	終末				5		

(3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。